

第1号様式（第2条関係）

市民防災組織結成届

年 月 日

立川市長 殿

組織名

住所

代表者名 印

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり市民防災組織を結成しましたので、届け出ます。

1 組織情報

組 織 の 名 称	
結 成 年 月 日	
代 表 者 名	
代 表 者 住 所	電話番号 — —
組 織 会 員 数	
組織構成世帯数	

2 提出書類

- (1) 市民防災組織の区域地図（市民防災組織に所属する世帯の場所が分かる地図）
- (2) 市民防災組織の規約
- (3) 市民防災組織の組織図
- (4) 市民防災組織の役員の名簿

第3号様式（第4条関係）

市民防災組織助成申請書

年 月 日

立川市長 殿

代表者名 印

電話番号 — —

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり 年度市民防災組織助成補助金の交付を申請します。

1 申請内容

項 目			金 額 等
1 申請額（内訳合計）			円
2 内訳	(1) 結成補助金		円
	(2) 運営費補助金	(組織割)	円
		(世帯割)	円
	(3) 市民消火隊運営費補助金		円
3 組織構成世帯数			世帯

2 添付書類 市民防災組織予算書・事業計画書（第3号様式の2）

第3号様式の2（第4条関係）

令和 年度 市民防災組織予算書・事業計画書

組織名	
住所	
代表者名	印
会計者名	印

（自署の場合は、押印を省略できます。）

1 収入

科 目	金額（円）	備 考
前年度繰越金		
市補助金		
合 計		支出の金額と同じ

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び使途を備考欄に記載すること。

2 支出

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
小 計			
合 計			収入の金額と同じ

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

3 事業計画

防災物品助成申請書

年 月 日

立川市長 殿

代表者名 印

電話番号 — —

(自署の場合は、押印を省略できます。)

次のとおり、防災物品助成を申請します。

品 名		数 量	備 考
貸付け	可搬消防ポンプ	台	
	可搬消防ポンプ収納設備	式	
	組立て式貯水槽	基	
交 付	腕章	枚	
	トランジスターメガホン	個	
	救急箱	箱	
	防災作業服上下衣	着	
	作業帽	個	
	防火衣一式	組	
	防火帽一式	組	

第9号様式（第4条の3関係）

市民防災組織助成請求書

年 月 日

立川市長 殿

代表者名 印

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

次のとおり 年度市民防災組織助成補助金を請求します。

1 請求金額 金 _____ 円

2 振込口座

金融機関名	本支店名	種別	口座番号
		普通 当座	
フリガナ			
口座名義			

※ 口座名義人が上記の代表者と異なる場合

この補助金の受領に関しては、上記の口座名義人にその権限を委任します。

委任者 （代表者と同じ） _____ 印

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

記載例

第1号様式（第2条関係）

市民防災組織結成届

令和〇〇年〇〇月〇〇日

立川市長 殿

団体名 〇〇〇〇〇自治会

住所 立川市〇〇町1-2-3

代表者名 会長 立川 太郎 印

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり市民防災組織を結成しましたので、届け出ます。

記

1 組織情報

組 織 の 名 称	〇〇〇〇〇防災対策委員会
結 成 年 月 日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
代 表 者 名	立川 太郎
代 表 者 住 所	立川市〇〇町1-2-3 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
組 織 会 員 数	〇〇〇名
組織構成世帯数	〇〇〇世帯

↑会長名の印鑑で
押印願います。

2 提出書類

- (1) 市民防災組織の区域地図（市民防災組織に所属する世帯の場所が分かる地図）
- (2) 市民防災組織の規約
- (3) 市民防災組織の組織図
- (4) 市民防災組織の役員の名簿

記載例

第3号様式（第4条関係）

市民防災組織助成申請書

年 月 日

立川市長 殿

〇〇自治会防災対策委員会

××町△丁目××番×号

代表者名 代表 立川太郎

電話番号 000-0000

会長個人名の印鑑をお願いします。

（自署の場合は、押印を省略できます。） 次のとおり 令和 ×× 年度市民補助金の交付を申請します。

次のとおり 令和 ×× 年度市民防災組織助成補助金の交付を申請します。

1 申請内容

項 目			金 額 等
1 申請額（内訳合計）			20,000円
2 内訳	(1) 結成補助金		20,000円
	(2) 運営費補助金	(組織割)	円
		(世帯割)	円
	(3) 市民消火隊運営費補助金		円
3 組織構成世帯数			〇〇〇世帯

2 添付書類 令和 ×× 年度市民防災組織予算書・事業計画書（第3号様式の2）

自治会の場合、自治会に加入されている世帯数(4月1日現在)をご記入下さい。
協働推進課に報告する世帯数でお願いします。

記載例

第3号様式の2（第4条関係）

××年度市民防災組織予算書・事業計画書

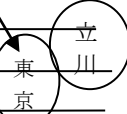
個人名の印鑑をお願いします

組織名〇〇自治会防災対策委員会

住所

代表者名 立川 太郎

会計者名 東京 花子



（自署の場合は、押印を省略できます。）

1 収入

科 目	金額（円）	備 考
前年度繰越金	（例） 3, 0 0 0 円	
市補助金	（例） 2 5, 0 0 0 円	（例） 200 世帯×50 円+15,000 円
自治会補助金	（例） 3 0, 0 0 0 円	
合 計	（例） 5 8, 0 0 0 円	

注意 前年度繰越金については、生じた理由及び用途を備考欄に記載すること。

科 目	負担区分		備 考
	市補助金（円）	その他（円）	
備品購入費	（例） 22,000 円	（例） 3,000	ヘルメット・メガホン購入
会議費		（例） 6,000 円	防災会議（3回）お茶代
訓練費	（例） 3,000 円		防災訓練お茶代
反省会		（例） 20,000 円	訓練後の反省会
予備費		（例） 4,000 円	
小 計	（例） 25,000 円	（例） 33,000 円	
合 計	（例） 5 8, 0 0 0 円		

支出例

2 支出 注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

注意 市補助金を酒、たばこ等の購入又は飲酒を伴う会議に使用することはできない。

3 事業計画

△月	第1回防災会議	防犯防災に係る事業を列記
△月	第2回防災会議	
△月	防災訓練・炊き出し訓練	
△月	〇〇支部地域防災訓練	
△月	第3回防災会議	
△月	歳末夜間警戒	

記載例

第5号様式（第4条関係）

防災物品助成申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

立川市長 殿

〇〇〇防災対策委員会

立川市〇〇町1-2-3

代表者名 代表 立川 太郎 印

電話番号 042-〇〇〇-

（自署の場合は、押印を省略できます。）

次のとおり、防災物品助成を申請します。

↑会長名の印鑑で
押印願います。

品 名		数 量	備
貸付け	可搬消防ポンプ	台	
	可搬消防ポンプ収納設備	式	
	組立て式貯水槽	基	
交 付	腕章	20 枚	
	トランジスターメガホン	1 個	
	救急箱	1 箱	
	防災作業服上下衣		【200世帯未満】 腕章20枚 メガホン・救急箱各1個 【200世帯以上】 腕章30枚 メガホン・救急箱各2個
	作業帽		
	防火衣一式		
	防火帽一式		
			世帯数に応じて交付数に決ま りがあります。

記載例

第9号様式（第4条の3関係）

市民防災組織助成請求書

年 月 日

立川市長 殿

〇〇自治会防災対策委員会

××町△丁目××番×号

代表者名 代表 立川太郎

立川

（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

次のとおり 年度市民防災組織助成補助金を請求します。

1 請求金額 金 20,000 円

2 振込口座

金融機関名	本支店名	種別	口座番号
立川市民銀行	泉町支店	普通	1 2 3 4 5 6 7 8 9
フリガナ	バツバツジチカイ カイケイ トウキョウハナコ		
口座名義	××自治会 会計 東京 花子		

個人名だけの口座名義には振込めません。
組織名(自治会名等)が入った口座名義をお願いします。

※ 口座名義人が上記の代表者と異なる場合

この補助金の受領に関しては、上記の口座名義人にその権限を委任します。

委任者 （代表者と同じ） 立川 太郎 印
（自署又は押印は、申請書と同じものにしてください。）

代表者と振込先口座名義が異なる時には、
代表者のご署名と個人印をお願いいたします。

個人名の印鑑をお願いします。

○○自治会防災対策委員会区域図（例）



〇〇防災対策委員会規約（例）

（名称及び本部）

第1条 本会は、〇〇自治会防災対策委員会と称し、本部を〇〇自治会事務所に置く。

（目 的）

第2条 本会は、地域住民同士等による助け合いの精神に基づき自主的な防災活動を行うとともに、地震その他の災害時においては初期消火、救護、避難誘導、調達、情報伝達などの活動を行うことを目的とする。

（組 織）

第3条 本会は、原則として〇〇自治会の会員をもって構成する。

（活動内容）

第4条 本会は、第2条の目的達成のため、次の事業を行う

- （1）防災計画を作成し、実施すること
- （2）防災訓練を実施すること
- （3）防災資機材等を整備すること
- （4）各防災機関との連絡協議すること
- （5）近隣自治会との情報交換及び協議すること
- （6）防災意識向上のための啓発及び防災知識の習熟に関すること
- （7）その他、第2条の目的を達成するために必要な事項

（機関及び業務）

第5条 第2条の目的達成のため、本会の組織構成は別紙「防災組織図」のとおりとし、次の機関を置く。

- （1）情 報 班
- （2）給食・給水班
- （3）避難誘導班
- （4）消 火 班
- （5）救護・救出班

（役 員）

第6条 本会に次の役員を置く。

（1）	1名	
（2）	2名	
（3）会	計	1名
（4）	5名	

（役員を選出）

第7条 役員を選出は、次のとおりとする。

- （1）会長及び副会長は、〇〇自治会の正副会長をもってこれに充てる。
- （2）会計は、〇〇自治会の会計をもってこれに充てる。
- （3）班長は、自治会役員の互選とする。

（役員の任期）

第8条 役員の任期は、次のとおりとする。

- （1）会長、副会長及び会計の任期は、自治会役員の任期とする。
- （2）班長については、1年とする。ただし再任は妨げない。

（役員の任務）

第9条 役員の任務は、次のとおりとする。

- （1）会長は、会を代表し会務を総括する。

- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、当該職務を代行する。
- (3) 会計は、会計、予算、決算に関する業務を行う。
- (4) 班長は、会長・副会長の指示に従い担当の業務を行う。

(会計年度)

第10条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

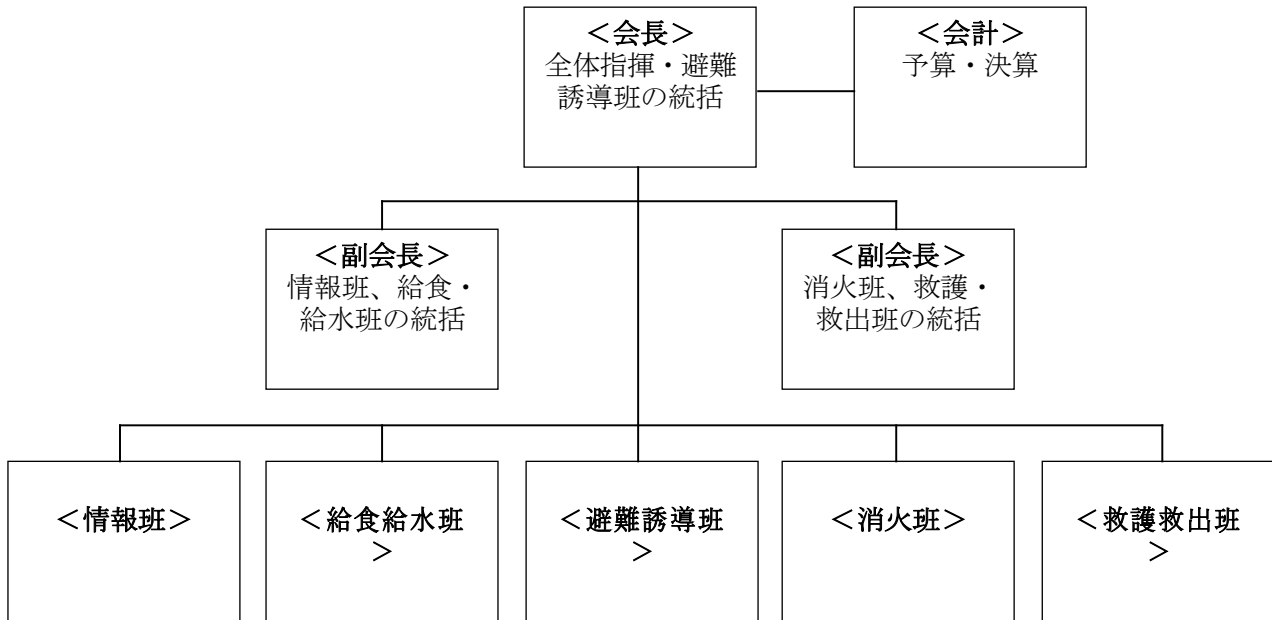
(その他)

第11条 この規約に定めのない事項については、役員会に諮りその都度決定するものとする。

附 則

この規約は、令和〇〇年〇月〇日より施行する。

〇〇防災対策委員会組織図（例）



災害が発生した場合は、まず自身・家族の安全を第一に行動してください。

その後、初期消火・救護・救援活動を行う。

状況に応じ、〇〇集合場所から〇〇一次避難場所あるいは、〇〇広域避難場所に避難する。

避難完了時には、自治会の各班の役員は、避難者人数、未避難者人数を、避難誘導班長に報告する。

上記、組織図により災害に対応する。

〇〇防災対策委員会役員名簿（例）

令和 年 月 日現在

[illegible]

市民防災組織結成から補助金交付までの流れ

【0】 結成

自治会やマンション管理組合などで「市民防災組織を結成しよう！」という合意のもと、組織を結成します。

【1】 結成届出

下記必要書類に必要事項を記入・押印していただき、事前に防災課担当と調整の上、防災課までご提出ください。

＜必要書類＞

- ・ 第1号様式「市民防災組織結成届」((1)～(4)を添付)
 - (1) 市民防災組織の区域地図（組織に所属する世帯の場所が分かる地図）
 - (2) 市民防災組織の規約
 - (3) 市民防災組織の組織図
 - (4) 市民防災組織の役員の名簿 * (1)～(4)は任意の様式で構いません。
- ・ 第3号様式「市民防災組織助成申請書」
- ・ 第3号様式の2「市民防災組織予算書・事業計画書」
- ・ 第5号様式「防災物品助成申請書」
- ・ 第9号様式「市民防災組織助成請求書」

【2】 補助金支給決定

市役所より、結成時補助金 20,000 円の支給が決定したことを通知する文書が代表者様宛に届きます。

【3】 振込

約2～3週間後、ご指定の口座に補助金が振り込まれます。

立川市危機管理対策室防災課
TEL 042-523-2111 (内 2531)
FAX 042-538-4333
MAIL bousai-t@city.tachikawa.lg.jp